

福岡大学筑紫病院・呼吸器内科後期研修プログラム

福岡大学筑紫病院は大学病院ですが、各診療科間の垣根がなく、扱う疾患も大学病院よりも市中病院に近く、**common disease** の入院患者さんも多数おられます。このような当院の特色を生かして、幅広く**呼吸器内科の研修**ができる研修プログラムを作成しました。

日本人の死因として肺炎、肺癌、慢性閉塞性肺疾患が循環器疾患と並んで上位にあることは皆さんご存知のことと思います。このように日本人の死因に占める呼吸器疾患の割合が高く、**呼吸器内科医の重要性**は今後ますます高まることが予想されます。呼吸器内科医が扱う疾患は上記の他にも気管支喘息などのアレルギー疾患、間質性肺炎・肺線維症・膠原病肺などの、びまん性肺疾患、胸膜炎・気胸などの胸膜疾患、縦隔腫瘍などの縦隔疾患など多岐にわたり、内科で見るほとんどの疾患が肺にも出現することから、**肺は全身の鏡**であるといわれています。このように呼吸器疾患を研修することは同時に幅広い内科疾患の研修にも通じます。また胸部 X 線の読影はどの診療科にいても必要とされる基本中の基本といえる診療技術であり、また検診業務に携わる場合にも胸部 X 線の読影は必須の要件になると思います。**胸部 X 線および CT を読影**し、その所見から肺にどのような病変が起こっているのかを考え、他の臨床所見と考え合わせて**診断・鑑別診断**を考えていくプロセスは、知的好奇心がそそられると共に、**内科医としての醍醐味**が味わえます。

もし希望される先生は、**福岡大学病院呼吸器内科、国立病院機構大牟田病院呼吸器内科での研修**も可能です。このように当研修プログラムに参加すればその後幅広い選択肢が用意されており、各先生の希望にあわせた研修が可能です。

当科における研修コースは①当科で呼吸器内科を研修する**ストレート研修**、②当科で呼吸器内科を研修後、**福岡大学や国立病院で呼吸器内科を研修する院外研修コース**の 2 種類があります。研修開始後に別のコースへの変更も可能です。研修期間は原則 2 年間ですが、その後は各先生の希望を聞いてキャリア・パスをつくります。

1.呼吸器内科を研修するストレート研修

3 年次

(目標) 肺炎・胸膜炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、気胸などの **common disease** や慢性呼吸不全の病態を理解・診断し、対応する能力を身につける。

胸部 X 線、CT の読影力を磨く。

気管支鏡、胸腔ドレナージ、中心静脈カテーテル挿入、気管内挿管が上級医の指導下でできる。

内科認定医の取得をめざす。

(行動) 肺炎・胸膜炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、気胸、慢性呼吸不全で入院した患者の主治医となり、上級医の指導のもと診断、治療にあたる。
カンファレンス、レクチャーで胸部 X 線、CT の読影力をつける。

上級医の指導のもとで気管支鏡、胸腔ドレナージ、中心静脈カテーテル挿入を行う。

担当した患者の中から興味ある症例を学会に報告する。

4年次

(目標) 肺癌、間質性肺炎・肺線維症などの難治性疾患や急性呼吸不全の病態を理解・診断し、対応する能力を身につける。

気管支鏡、胸腔ドレナージ、中心静脈カテーテル挿入、気管内挿管を独力でできる。

人工呼吸管理ができる。

臨床上の疑問点を見つけ、臨床研究を行う。

内科認定医を取得し、呼吸器専門医としての研修を行う。

(行動) 肺癌、間質性肺炎・肺線維症、急性呼吸不全で入院した患者の主治医となり、上級医の指導のもとで診断、治療にあたる。

カンファレンス、レクチャーで胸部 X 線、CT の読影力をさらに向上させる。

気管支鏡、胸腔ドレナージ、中心静脈カテーテル挿入を主体となって行う。

人工呼吸管理（非侵襲的陽圧人工呼吸管理を含む）を上級医の指導のもとで行う。

上級医の指導の下、臨床研究を行う。

担当した患者の中から興味ある症例を学会に報告する。

内科認定医の試験に合格し、呼吸器専門医取得のための研修を行う。

2.呼吸器内科を研修後、福岡大学や国立病院で呼吸器内科を研修する院外研修コース

3年次～4年次（期間は応相談）

(目標) (行動) ①の3年次および4年次の一部と同じ

4年次（期間は応相談）

(目標) 気管支鏡のスキルアップをはかる。

他施設で呼吸器疾患の研修を行い、人脈のネットワークをひろげる。

まれな疾患や難治性疾患について深くほりさげて研修を行う。

内科認定医を取得し、呼吸器専門医としての研修を行う。

(行動) 福岡大学呼吸器内科、国立病院機構大牟田病院にて呼吸器内科の研修を行う。

気管支鏡の経験症例数を増やす。

他施設の呼吸器科医との人的ネットワークをつくる。

上級医の指導の下、臨床研究を行う。
担当した患者の中から興味ある症例を学会に報告する。
内科認定医の試験に合格し、呼吸器専門医取得のための研修を行う。

連絡先(医局長 宮崎 浩行)Tel:092-921-1011